

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あひろば社			
○保護者評価実施期間	8年 6月 22日 ～ 8年 7月 10日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22人 (20世帯)	(回答者数)	14人 (14世帯)
○従業者評価実施期間	8年 6月 22日 ～ 8年 7月 10日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3人	(回答者数)	3人
○事業者向け自己評価表作成日	8年 7月 18日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者が参加できるイベント 事業所合同での大人数でのイベントの開催	体育館やホールを借り、6事業所を交えての大規模なイベントの定期開催は児童、職員を含め楽しみに思えるものとなっております。企画も年々試行錯誤しながら考えており、職員のスキルアップにも繋がっております。又、保護者様にも参加できるイベントを開催する事で事業所の活動を見ていただいたり、コミュニケーションを図る事にも繋がっています。	保護者様の都合もあるかと思いますが、もっと保護者にも参加していただけるようなイベント、参加して良かった、利用して良かったと思えるイベントを考えていきたいです。
2	小集団活動の定着 児童の意思表示の強化	個別活動や個別療育はもちろん行っているが、他児童や職員との交流を深める活動を毎日行っております。その中でのトラブルや意見交換を経験し成長に繋がっていると実感しています。	小集団活動への積極性をさらに伸ばしていくことで、児童それぞれの考え（こんな活動をしたい等）も伸ばしていけると感じています。
3	地域交流	事業所外での活動（児童館との交流、職場体験・見学等）も積極的に取り入れ、自立に向けた経験にもつながっていると思います。	社会に出ていく為の訓練として今後も取り組み、できる事や興味の幅を広げていきたいです。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家庭への支援のつながり	事業所で上手くいった支援をもっと共有していき、家庭でも実践できる事を考えていきたいです。	『家庭でもできたら』という所に評価ができるように支援していきたいと思います。 取り組みに対し、具体的な効果を伝えていきたいです。（家庭での支援にも繋がる。）
2	活動スペースの仕分け	基本ワンフロアでの活動になる為、静かな活動と動く活動が同フロアで起きてしまう時があります。	様々な特性が児童によってありますが、しっかり見渡せる空間である為、事故やトラブルの面では良いつくりとなっています。増築等は難しい所もある為、時間を区切った活動にしたり、相手を思いやる力も身に付けられる機会であると思いい支援に活かしていきます。
3	連絡ツール	基本電話でのやり取りになる為、営業時間外での連絡がとれない。	ICT化の面でいつでも連絡できるツール等考えていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
あひろぼ社		8年 8月 18日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動する上でスペースの区分け(安全面に配慮しながら)を行い、複数の活動が出来るようにしている。	どの児童もののびのび活動ができるようスペースの確保を行います。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		人員配置は適切である。	送迎等状況によっては手薄になる事もある為、安全面に配慮した支援を最優先にて行います。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		屋内、玄関先にスロープはある。	児童がクールダウンする個室の要望がある為、状況次第で職員スペースを利用していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日掃除を行い、なかなか手の届きにくい場所への清掃も意識し行っております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○		環境的に個室を設けられないが、状況次第で職員スペースを使用します。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		日々の振り返りとして、朝礼や昼礼を行っています。また、定期的なミーティングも行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年1回保護者アンケートを行っております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的なミーティングやその都度必要に応じて行っています。	意見などは都度言える雰囲気を作り、できることはすぐ改善していきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		社内研修だけではなく、外部研修にも参加している。	職員の資質向上のための研修等毎年行い、さらなる向上を目指していきます。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		毎月保護者・児童あてにプログラムの配布を行っている(HPでの公表も行っている)。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		これからもしっかりとアセスメントを行い、最適な個別支援計画を作成していきます。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		支援会議を行った上で作成しています。	普段の関りの中での気づき等日常的に意見交換ができる場を作っています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援会議を全職員で行って共有しています。	新人職員へも具体的に説明し、共有していきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		連絡帳を活用しています。	連絡帳を書けない時もある為改善していきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		個別支援計画内に明記し、どんなことをするのか記載させていただいております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		ミーティングで話し合い、作成しています。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		定期的な見直し、新しい活動を提供しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		支援計画に基づき、支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼、昼礼を行い共有しております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援後や次の日に振り返りを行います。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録は毎日行い、抜けが内容管理しております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年又は必要に応じて行っております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		意思表示を大切にし自己決定に繋げております。表現が難しそうな場合に支援を行っております。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		状況によっては参加出来ない時もあるが、可能な限り参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要である場合は連携させていただきます。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		下校時間等は基本学校からのお便りや保護者からの連絡となっているが、急遽時間が変更となった場合、連絡が上手くできておらず、迎えの時間が遅れる事があります。	電話、送迎時等に情報の共有（特に変更点）を行っていきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		必要に応じて行なっています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		必要に応じて行なっています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		県主催の研修などへの参加を行っています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		児童館との交流を行っています。	様々な児童クラブ等の関りを増やしていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時情報共有を行っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	相談や意見などあれば適切に対応し、こちらからの提案もさせていただいております。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に行なっています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		気軽に意見や希望を言っていただけ関係性を重視しています。希望があった際はできる範囲で取り組んでおります。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		更新毎に行っております。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		随時行っております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情等に関しましてはすぐに対応し、安心してりようできる事業所づくりを行っております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ブログやInstagramを活用しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		ケース会議等必要な場合を除き、外部には一切出すことはございません。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		児童それぞれの特性に合わせた取り組みをしています。保護者への伝達等はできるだけ保護者にとってやりやすい形をとっております。	お便りや分かりやすい説明ができると良いと考えます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		玄関に掲示し、いつでも手に取って閲覧できるようにしております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画（BCP）を策定し玄関へ張り出しております。又、訓練も毎年行っております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		見学、契約時に細かくお聞きしております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			医師の指示書に基づく対応が必要な児童が在籍しておりません。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		まずは安全を第一に考え支援を行います。定期的な研修、訓練も実施しております。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			もっとお便りや分かりやすい説明ができると良いと考えます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		都度共有し、報告書の作成を行っております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		定期的な研修を毎年行っております。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		契約書、重要事項説明時に十分に伝えさせていただいております。	